

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2025年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習場及び練習について

- (1) 競技場練習の時間帯は7:30～8:45とする。
- (2) 競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用してのスピード練習等は禁止する。
- (3) 投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- (4) 雨天練習場および多目的グラウンド横のウレタン走路はウォーミングアップで使用することができる（多目的グラウンドは使用できない）。
- (5) トリムコースでのウォーミングアップは一般の通行人の妨げにならないように十分注意して行うこと。多目的グラウンド横のアスファルト舗装道路でのウォーミングアップは禁止する。

3 招集について

- (1) 招集所は、100m スタート後方第4ゲートに設ける。
- (2) 招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内に持ち込まないこと。
- (4) 招集の手順
 - ① 競技者は、招集時刻までに招集所で、競技者係の確認を受ける。トラック種目出場者で、腰ナンバーカードが競技者係から配布された場合は、右腰のやや後方につけること（フィニッシュ後回収）。
 - ② 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ③ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻までに所定の「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること（用紙は本部 TIC に準備）。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
 - ④ 招集完了時刻に確認を受けていない競技者は、当該種目については棄権とみなして処理する。
- (5) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに、「欠場届」を提出すること（用紙は本部 TIC に準備）。
- (6) リレー種目について
 - ① 「オーダー用紙」は、招集完了時刻の60分前までに招集所へ提出すること。オーダー用紙の提出がない場合は、当該種目を欠場するものとみなし処理する（用紙は本部 TIC に準備）。
 - ② リレーに用いるマーカーは、出場チームで準備し、使用後は責任を持って取り除くこと。
- (7) 招集所からスタートライン・跳躍場・投てき場へは、各自で移動すること。
- (8) 招集時間については以下の通りとする。

	招集開始時間	招集完了時間
トラック	30分前	20分前
フィールド	50分前	40分前

4 競技進行について

- (1) 番組編成及びラウンドの通過について
 - ① トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載左側に示された番号順とする。なお、トラック競技の決勝進出者及びレーン順については、番組編成員が競技規則に従い公平に抽選して決定し、招集所の番組編成板で発表する。
 - ② トラック競技における次の決勝への進出者について
 - (ア) 決勝進出者を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。
 - (イ) レーンに余裕がある場合同タイム(1/1000秒単位)の選手の出場を認める。
 - (ウ) レーンに余裕がない場合本人または代理人により抽選する。

(2) 競技について

- ① 大学対校とし、1位7点、2位5点～6位1点とする。大会新記録は2点を加点する。
- ② 当該種目出場の競技者以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- ③ 競技用靴のスパイクの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は、11本以内とする
- ④ アスリートビブスは配布された大きさのまま、ユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、背部または胸部だけでもよい。
- ⑤ 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- ⑥ 皇子山陸上競技場の使用規定により、固定ピンスパイクシューズを除き、ニードルピンなど先端が尖ったピンの使用を禁止する。

(3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
男子 走高跳	1m50 1m80	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	1m86	以降3cmずつ上げる
女子 走高跳	1m10 1m35	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m43	1m46	以降3cmずつ上げる

※走高跳・棒高跳については、優勝が決まり最後の1名になれば、バーを上げる高さまたは、バーの上げ幅は審判員または審判長と相談の上、その競技者が決定することができる(残っている競技者が2名以上でも、全員の同意があれば大会記録等を超える高さにバーを上げることができる)。

- (4) 三段跳の踏切板は、11m00に設置する。
- (5) 競技中に起きた競技者の行為又は順位などに関する抗議は、競技規則146条に基づいておこなうこと。

(注)競技用シューズに関するルールについて

ワールドアスレティックス(以下「WA」という)によるWA規則第143条(テクニカルルール第5条=TR5)が適用されるため、規定外のシューズでの参加は認めない。(発覚した場合は失格扱い)

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。検査時刻は、競技開始時刻の60分前までとし、用器具庫(フィニッシュ地点横)で行う。競技中に破損が生じても主催者は一切の責任を負わない。
- (3) フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したものを2個まで、サークルからの投てき種目では1個、置くことができる。個人の所有物は使用できない。走高跳の競技者は、各自でマーカー(粘着テープ、2箇所まで)を用意し使用してもよい。
- (4) リレー競技のマーカーは各チームで準備し、レース終了後必ず撤収すること。

6 表彰について

- (1) 各種目1～3位には賞状・メダルを授与する。
- (2) 男女トラックの部・フィールドの部・総合の部で3位以内の学校を表彰する(優勝校にはトロフィーと賞状、2～3位の学校には賞状を授与する)。
- (3) 男女最優秀選手各1名を表彰する(盾と賞状を授与する)。

7 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、個人情報を取り扱う。また、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 大会の映像・写真・記事・記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム、新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

8 その他注意事項

- (1) 記録は、大会ホームページ（アスリートランキング）を確認すること。
- (2) 競技者の入退場は競技場のゲートから行い、みだりに競技場内に入らないこと。
- (3) 正面玄関からの出入りは禁止する。（表彰・抗議等は除く）
- (4) 競技中に起こった疾病・傷害については、本部の医務室で応急処置は行うが、以後の責任は一切負わない。
- (5) ゴミ等は各自で持ち帰ること。駅・競技場周辺のごみ箱等には絶対放置しないこと。
- (6) 貴重品、荷物等は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。
- (7) 事前に連絡がない場合のマイクロバス、大型バスでの来場は禁止する。また、駐車場のスペース不足につき、自家用車の駐車は1大学につき2台までとする。
- (8) 学校関係者以外の、写真・ビデオの撮影は禁止する。
- (9) テント・シート・横断幕・のぼりについて
 - ① テント・のぼりについては、メインスタンド中央通路より上部(屋根のある部分を除く)、芝スタンド中央通路より後部に設置しても良い。（芝スタンドでのテント撤去の際、ペグの抜き忘れに十分注意すること）
 - ② 横断幕については、芝スタンド後部の柵に設置すること。
 - ③ 競技場外側の周回道路や公園等に設置することは禁止する。
 - ④ その他、支障が生じる場合は撤去を指示することがある。